

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
自然を愛し、心のふれあう花園	高齢者、笑顔で障がい者がまちなちづくり、	高齢者	高齢者の孤立防止と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が市の平均より高い</li> <li>・高齢者を狙った詐欺事案がある</li> <li>・交通手段がない（車が無いと移動手段がない）</li> <li>・ふれあいサロンの内容の検討が必要</li> <li>・避難所が遠く、身近な避難所の確保が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からの声掛け、見守りの推進と高齢者世帯の把握</li> <li>・詐欺について啓発活動を行なう</li> <li>・ふれあいいきいきサロンの実施形態の見直し</li> <li>・移動販売や配達可能な店舗の確認、周知をする</li> <li>・行政や関係機関との情報共有と自治会や自主防災クラブとの連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から声掛けや見守りを行なう</li> <li>・詐欺についての啓発活動を行なう</li> <li>・移動販売や配達可能な店舗の情報を周知する</li> <li>・定期的に開催される会議のなかで行政や関係機関との情報共有を行なう</li> <li>・自治会や自主防災クラブとの連携にて避難所の確保、場所の周知を行なう</li> </ul>
			認知症高齢者に対する理解と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症への正しい理解と対応方法について周知が不十分</li> <li>・徘徊する高齢者の事例があった</li> <li>・介護予防サポーターの人数が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症について学ぶ機会をつくる</li> <li>・介護に対する住民の関心を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症や介護に関する学習会を開催する</li> <li>・ふれあいいきいきサロンの内容の充実を図り、関係機関からの情報提供と発信を行なう</li> </ul>
			高齢者の体力維持と健康問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持病がある方の割合が多い</li> <li>・要介護認定率が市の平均よりも高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中に運動できる機会と場所を設ける</li> <li>・関係機関からの情報提供を受け、地域住民に周知する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいに関する学習会を開催する</li> <li>・要援護者登録者名簿の周知と活用方法を検討する</li> </ul>
		障がい児・者	障がい児、者に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児、者への正しい理解と対応方法について周知が不十分</li> <li>・災害時の避難場所がわからない</li> <li>・避難場所へ行ったことがなく、不安がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい特性や対応方法について学ぶ機会をつくり、啓発活動を行なう</li> <li>・要援護者登録者名簿の周知、活用を行なう</li> <li>・避難所や避難経路の周知と確認を行なう</li> </ul>	
	子どもが地域のびのび育つまちなちづくり	子ども・子育て	子どもの人権（いじめ、不登校、虐待、引きこもり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめや虐待の早期発見と早期対応が必要</li> <li>・保育園、幼稚園、学校との連携、情報共有が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けや見守りを行なう</li> <li>・関係機関と連携した子育てサロンやイベントの開催と子育てに関する情報提供を行なう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からの声掛けや見守り、あいさつ運動</li> <li>・ジュニアヘルパーによる活動を継続していく</li> <li>・子ども避難の家の看板整備と活用方法の検討</li> </ul>
			ひとり親世帯・子育て世帯の孤立と相談の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談、集まりの場が少ない</li> <li>・親子で交流できる場、機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、幼稚園、学校との連携、情報共有を行なう</li> <li>・子育て世代、世代間等との交流の機会をつくる</li> <li>・通学路の危険箇所の把握と周知を行なう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンの周知とイベント内容の充実を図る</li> <li>・どんどや、餅つき、桜灯籠祭りなど地域行事への参加、交流促進</li> </ul>
			子ども、子育て家庭の見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路に危険箇所が多くある</li> <li>・子育て世帯の情報把握が十分にできていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の健康課題や子育てについて情報提供を行なう</li> <li>・子育てサロンの周知と参加者の増加を図る</li> <li>・子育てネットワーク会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃん訪問による子育て世帯の見守り</li> <li>・子育て支援ネットワークの活性化</li> <li>・ウォークラリーなどのイベントの開催を検討する</li> </ul>
			子どもの健康問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むし歯である子どもの割合が多い</li> <li>・精神的なストレスを抱えている子どものケア</li> <li>・体力の低下が懸念される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の健康課題や子育てについて情報提供を行なう</li> <li>・子育てサロンの周知と参加者の増加を図る</li> <li>・子育てネットワーク会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃん訪問による子育て世帯の見守り</li> <li>・子育て支援ネットワークの活性化</li> <li>・ウォークラリーなどのイベントの開催を検討する</li> </ul>
	互いに支え合うまちなちづくり	地域全体	地域の後継者不足 地域役員の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40～50代の若い方々の地域活動への参加が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からの関わり（挨拶、声掛けなど）</li> <li>・地域の会議で各団体の情報共有を行なう</li> <li>・声かけ時に地域住民とわかりやすい目印（ゴミ袋など）があると安心するので、その周知を行なう</li> <li>・孤立化させないためにコミュニケーションする場の創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から声掛けや見守りを行なう</li> <li>・自治協議会にて各団体との情報共有を行なう</li> <li>・町内ここの行事（どんどや、餅つきなど）への参加を呼び掛ける</li> </ul>
			世代間交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の地域行事への参加が少ない</li> <li>・隣近所のつながりができていない</li> <li>・近所の付き合いで、鍵となる方がいないとなかなか参加しにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治協議会健康づくり部会による健康づくりの啓発活動</li> <li>・ふれあいいきいきサロンへの参加者増加を図る</li> <li>・新型コロナの影響を受けにくい形での運動の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携した健康づくりに関する講演会、研修を企画する</li> <li>・健診受診を広く呼びかける</li> <li>・運動習慣について啓発する</li> <li>・ゴミ出しに関する情報の提供、ゴミカレンダーの活用を呼び掛ける</li> </ul>
			健康づくり・生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女ともに肥満傾向である</li> <li>・がん検診受診率が低い</li> <li>・毎日間食する習慣のある人が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出しに関する情報の提供を行なう</li> <li>・日頃からの声掛け、近隣住民との関係性を築く</li> <li>・市を中心とした様々な機関でできることの周知に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会への連絡と連携を強化していく</li> <li>・関係機関への連絡と情報提供にて対応していく</li> </ul>
			環境と治安（ゴミ問題、騒音トラブル等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ問題で困っている（ポイ捨て、放棄等）</li> <li>・空き地に草が生い茂っており、防犯上こわい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの周知と活用を呼び掛ける</li> <li>・町内における避難場所や避難経路の確認、広報</li> <li>・要援護者名簿の情報共有と避難支援体制の構築</li> <li>・日ごろから挨拶、声掛けを行ない関係を深める</li> <li>・子ども達への危険箇所の情報提供を行なう</li> <li>・防災訓練の実施と参加者募集を呼び掛ける</li> <li>・防災に関する情報提供、学習会の開催</li> <li>・個別避難支援プランの確認と協議</li> <li>・マイタイムライン計画を作成し、災害時の行動を“見える化”する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災クラブや自治会、他関係団体との連携）</li> <li>・日頃から声掛け、見守りを行なう</li> <li>・登下校時のあいさつ運動を行なう</li> <li>・ハザードマップの周知と活用方法を検討する</li> <li>・要援護者名簿の情報共有と避難支援体制の協議</li> <li>・防災訓練を実施する</li> <li>・防災に関する学習会を開催する</li> <li>・個別避難支援プランの確認と協議を行なう</li> <li>・マイタイムライン計画の作成を検討する</li> </ul>
助け合う心を持つまちなちづくり	災害・防災	平常時における災害の備えと避難支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難先（避難所）の周知と避難経路の確認が必要</li> <li>・要援護者の把握と支援体制の構築と確認が必要</li> <li>・住民の災害（防災）に対する意識を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者に対する避難支援の仕方、安否確認方法の周知が不十分</li> <li>・避難経路、避難場所の確認が必要</li> <li>・高齢者が多く、緊急時の対応が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川、水路が多く災害時に道が浸水、冠水する恐れがある</li> <li>・狭い道が多く、災害に備え複数の避難経路を考えておく必要がある</li> <li>・急傾斜で崩壊する危険がある場所や柵のない道がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に対する意識を高めることが必要</li> <li>・日頃からの近所つきあいを心がける取り組みが必要</li> <li>・避難所に行ったことがなく、不安がある住民がいる</li> </ul>
		災害時の行動、避難支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難先（避難所）の周知と避難経路の確認が必要</li> <li>・要援護者の把握と支援体制の構築と確認が必要</li> <li>・住民の災害（防災）に対する意識を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者に対する避難支援の仕方、安否確認方法の周知が不十分</li> <li>・避難経路、避難場所の確認が必要</li> <li>・高齢者が多く、緊急時の対応が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川、水路が多く災害時に道が浸水、冠水する恐れがある</li> <li>・狭い道が多く、災害に備え複数の避難経路を考えておく必要がある</li> <li>・急傾斜で崩壊する危険がある場所や柵のない道がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に対する意識を高めることが必要</li> <li>・日頃からの近所つきあいを心がける取り組みが必要</li> <li>・避難所に行ったことがなく、不安がある住民がいる</li> </ul>
		災害時の危険箇所の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川、水路が多く災害時に道が浸水、冠水する恐れがある</li> <li>・狭い道が多く、災害に備え複数の避難経路を考えておく必要がある</li> <li>・急傾斜で崩壊する危険がある場所や柵のない道がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの周知と活用を呼び掛ける</li> <li>・町内における避難場所や避難経路の確認、広報</li> <li>・要援護者名簿の情報共有と避難支援体制の構築</li> <li>・日ごろから挨拶、声掛けを行ない関係を深める</li> <li>・子ども達への危険箇所の情報提供を行なう</li> <li>・防災訓練の実施と参加者募集を呼び掛ける</li> <li>・防災に関する情報提供、学習会の開催</li> <li>・個別避難支援プランの確認と協議</li> <li>・マイタイムライン計画を作成し、災害時の行動を“見える化”する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施と参加者の募集を呼び掛ける</li> <li>・備蓄食糧や防災グッズの学習の機会をつくる</li> <li>・避難所の周知と避難経路の確認を行なう</li> </ul>	